

勤医協もみじ台歯科診療所

医療・福祉宣言2003

*勤医協の歯科がもみじ台に開院したのは1979年1月。当時子供達の元気な声があふれていた待合室は四半世紀を経ていま、顔なじみの患者さん同士が近況報告を交わす声が聞こえるようになりました。高齢の方が多い厚別区もみじ台地域のなかで、いつまでも安心して暮らせる街を求める声は切実です。

*わたしたちは、「口は健康の入り口」という考えにたって80歳で20本の歯を残そうという「8020ハチマルニマル」運動をはじめとした健康増進・保健予防活動に力を入れて、地域の健康づくりにとりくみます。

☆患者さんをはじめまわりの声を大切に、「信頼」される「安心・安全」なかかりやすい診療所づくりをすすめます。

☆身近な「かかりつけ」の歯科として、こどもからおとしよりまで生涯の健康づくりをサポートします。

☆歯科医療の専門家として、つねに力量の向上にはげみます。

☆病院や施設、ボランティア組織などと幅広く協力しあい、地域の中で患者さんをささえるネットワークの一員として力をつくします。

☆医療と福祉の充実したくらしやすい街をつくるために、患者さんをはじめ友の会・地域のみなさんとともにとりくみます。

以上、わたしたち勤医協もみじ台歯科職員は、全日本民医連に加盟する歯科診療所として地域のなかで、みなさんとともに歩みつづけることをここに宣言いたします。

- ・「安全」と「信頼」を第一とした診療所づくりをめざします
- ・安心してかかりやすい院所づくりをめざします
- ・スタッフは常に技術の向上に励みます
- ・他の医療機関・施設とも連携をはかっていきます
- ・病院や福祉施設など広くしっかりとした連携をつくることにつとめます。
- ・「だれもが安心してらせる」街をつくる活動にとりくみます
- ・「かかりつけ歯科医」としてみなさんのお口の健康を継続的にサポートします